

第1回 国道398号石巻バイパス技術検討委員会の概要

1) 日時： 令和4年2月21日(月)
10時30分～12時00分

2) 場所： 東北地方整備局 10F 会議室
(砂金委員はweb参加)

3) 出席者(委員、◎は委員長)

◎武山 泰 八戸工業大学 工学部 教授
砂金 伸治 東京都立大学 都市環境学部 教授
梅村 順 日本大学 工学部 専任講師
中尾 吉宏 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所長
千葉 衛 宮城県 土木部 副部長(技術担当)



4) 議事

- (1) 求められる機能について
- (2) 技術的課題について

5) 議事内容(主な意見等)

- 求められる機能として以下の3項目について了承を得た。
 - ①信頼性の高い道路
 - ②救急医療活動を支援する道路
 - ③地域の水産業や観光振興を支援する道路
- 以下の3項目について、技術的課題における「施工状況に応じた迅速な技術的判断や高度な技術力を活用する事により事業実施が可能であること」について了承を得た。
 - ①湧水を伴う脆弱地山でのトンネル施工
 - ②亀裂が発達した流れ盤でのトンネル施工
 - ③軟弱地盤上での盛土施工
- 検討委員会のまとめに対し、委員より以下のような助言、意見をいただいた。
 - ・ 通行止め時の広域迂回ルートも脆弱なため、当該区間の機能強化が重要。
 - ・ 沈下の時間や促進対策、大規模な地盤改良などのコストなどを考慮し、事業期間を見ながら事業を進めて欲しい。
 - ・ 起点側トンネル坑口の脆弱部について、地耐力の確認を行っておくこと。
 - ・ 今回の地質は発注者と施工者の情報共有、切羽の状況変化に関するマネジメントや技術的判断が特に重要。